



昭和三年一月
渡邊深水

THE 新 版 画

THE SHIN-HANGA:
The Great Endavor of
WATANABE Shōzaburō

版元・
渡邊庄三郎の
挑戦

色を、重ねる。光を、紡ぐ。

〔休館日〕月曜日、9月24日（土）、10月13日（火）（ただし9月21日（月）祝日、9月23日（水）祝日、10月12日（月）祝日は開館）

9時30分～17時30分（入館は17時まで）※10月24日（土）は、20時まで開館（入館は19時30分まで）

一般1500（1200）円、高大生1100（800）円、小中生900（600）円

※（ ）内は前売りおよび20名以上の団体料金。なお障害者手帳を提示の方とその同伴者1名（身体障害者手帳については等級が1～4級の場合に限る）は無料。北九州市在住の65歳以上のの方は2割減免（公的機関発行の証明書等の提示が必要）。※前売り券は、オンラインチケット（美術館サイトより）、ローソンチケット（ローソン、ミニストップ、チケットぴあ（セブンイレブン）、セブンチケット（セブンイレブン）、e+（e+プラス）（ファミリーマート）、小倉井筒屋、北九州モリレール主要駅で販売。※オンラインチケット、ローソンチケット、チケットぴあ、セブンチケット、e+プラスについては、展覧会開催中は当日料金での販売となります。

〔主催〕新版画展実行委員会（北九州市立美術館、毎日新聞社、読売新聞社、TVQ九州放送）

〔後援〕九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、北九州モリレール、筑豊電気鉄道株式会社

〔特別協力〕株式会社渡邊木版美術画舗 企画協力「株式会社アートワン」

伊東深水《眉墨》 昭和3年 渡邊木版美術画舗蔵

2026

9.12

土曜日

11.8

日曜日

北九州市立美術館 本館
Kitakyushu Municipal Museum of Art

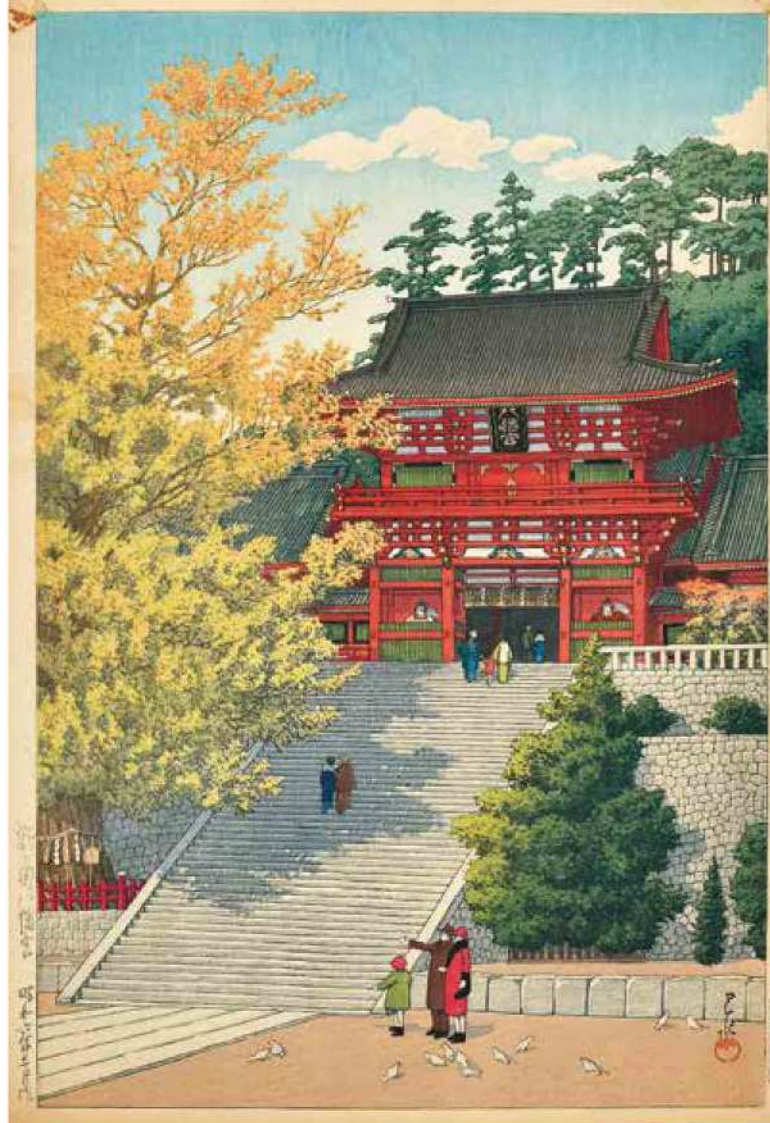


1

渡邊庄三郎(1885-1962)は17歳で浮世絵商・小林文七の輸出の出店(横浜店)に勤め、そこで出会った浮世絵の美しさに魅了され、明治以降、衰退の一途をたどっていた浮世絵木版画(錦絵)の復興と、新しい木版画制作を志します。その後独立し、明治42年(1909)に東京・京橋に渡邊版画店(現在の渡邊木版美術画舗)を構え、浮世絵の研究や販売を行うかたわら、大正4年(1915)から、来日していた外国人画家の作品の版画化を試み、鎗木清方の門下生を中心とした新進気鋭の画家たちとともに、高い芸術性を意識した新しい木版画制作に取り組みました。絵師、彫師、摺師の協業のもと、庄三郎の創意工夫と優れた審美眼に支えられた「新版画」を世に送り、昭和の初めに国内外で巻き起こる「新版画ムーブメント」の火付け役となりました。本展では、その「新版画」の精神を今もなお受け継ぐ渡邊木版美術画舗の全面的な協力のもと、残存数が少ない貴重な初摺の渡邊版画をとおして、渡邊庄三郎の挑戦の軌跡をたどりながら、モダンな精神に彩られた瑞々しい表現の魅力を紹介します。



渡邊庄三郎(1885-1962)は17歳で浮世絵商・小林文七の輸出の出店(横浜店)に勤め、そこで出会った浮世絵の美しさに魅了され、明治以降、衰退の一途をたどっていた浮世絵木版画(錦絵)の復興と、新しい木版画制作を志します。その後独立し、明治42年(1909)に東京・京橋に渡邊版画店(現在の渡邊木版美術画舗)を構え、浮世絵の研究や販売を行うかたわら、大正4年(1915)から、来日していた外国人画家の作品の版画化を試み、鎗木清方の門下生を中心とした新進気鋭の画家たちとともに、高い芸術性を意識した新しい木版画制作に取り組みました。絵師、彫師、摺師の協業のもと、庄三郎の創意工夫と優れた審美眼に支えられた「新版画」を世に送り、昭和の初めに国内外で巻き起こる「新版画ムーブメント」の火付け役となりました。本展では、その「新版画」の精神を今もなお受け継ぐ渡邊木版美術画舗の全面的な協力のもと、残存数が少ない貴重な初摺の渡邊版画をとおして、渡邊庄三郎の挑戦の軌跡をたどりながら、モダンな精神に彩られた瑞々しい表現の魅力を紹介します。



4

THE 新版画

版元・渡邊庄三郎の挑戦



2



3

①小原祥郎《柵欄に鶴雛》昭和初期 ②フリッツ・カペラリー《鏡の前の女》大正4年(1915) ③チャールズ・W・パーレット《ホノルル浪乗り》大正8年(1919) ④川瀬巴水《鶴岡八幡宮》昭和6年(1931) ⑤川瀬巴水《清洲橋》昭和6年(1931) ⑥名取春仙《新派似顔絵 大河内伝次郎の丹下左膳》昭和9年(1934) ※全て渡邊木版美術画舗版、渡邊木版美術画舗蔵

関連イベント

記念講演会「新版画の誕生とその魅力」

日時 9月12日(土) 11時(開場)10時30分(90分程度)

渡邊章一郎氏(渡邊木版美術画舗 代表取締役)

会場 エントランスホール ※申し込み不要 聴講無料

新版画の「摺り」(実演と実況解説)

渡邊章一郎氏による実況解説付き

日時 9月27日(日) 11時(開場)10時30分(90分程度)

実演 林勇介氏(木版摺師)

解説 渡邊章一郎氏

会場 エントランスホール ※申し込み不要 聴講無料

当館学芸員によるギャラリートーク

日時 9月20日(日)、10月17日(土) 14時(30分程度)

会場 展覧会場内 ※申し込み不要、本展観覧料が必要です

着物を着て美術館を楽しもう

展覧会期間中に和装着物を着てご来場いただいたお客様は、当日観覧料を500円割引します。

美術館で落語を楽しもう「夜間開館」

日時 10月24日(土) ①15時/②18時(各回60分程度)

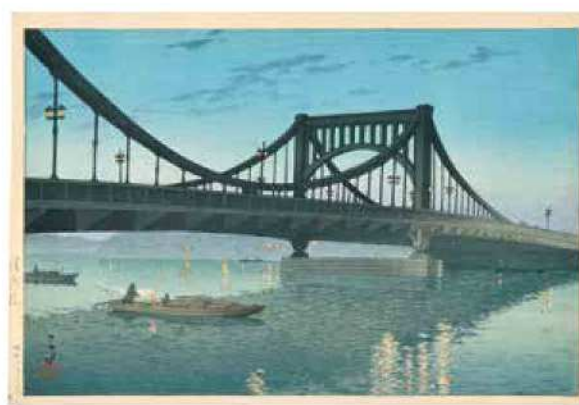
※20時まで夜間特別開館(入館は19時30分まで)

落語家 林家きく麿氏(真打 林家木久扇・一門)

会場 エントランスホール ※申し込み不要 観覧無料

※なお、都合によりイベントを変更することがあります。

詳細は美術館HPをご覧ください。



5



交通のご案内

西鉄バス

- 市内各地より「七条」で下車、「七条(戸畑方面)」(八幡東消防署高見分署前)から7M番(製鉄橋門行き)に乗り、「北九州市立美術館」で下車(所要6分)。
- JR小倉駅より「小倉駅入口」(JR小倉駅からモノレールに沿って行き、小倉駅前交差点を渡って左、徒歩5分)から7M番(鞘ヶ谷方面行き)に乗り、「北九州市立美術館」で下車(所要30分)。
- JR戸畑駅より「戸畑駅」から7M番(砂津行き)に乗り、「北九州市立美術館」で下車(所要25分)。

●西鉄天神高速バスターミナルより高速バス・いとうづ号(小倉方面行き)に乗り、「七条」で下車(所要1時間20分)。

車

北九州市高速道路・山路ランプから車で8分。

タクシー

JRスペースワールド駅・JR枝光駅より乗り、「北九州市立美術館」下車(所要10分)。

北九州市立美術館 本館

Kitakyushu Municipal Museum of Art

〒804-0024 北九州市戸畑区西鞘ヶ谷町21-1 TEL093-882-7777 <https://www.kmma.jp>



6

新版画独自の技法にも注目!
「ざら摺り」
パレンの燃束のこぶを利用して、あえて摺り跡を残す方法。